

窓口での手数料支払い PayPay が可能に！

～接触機会の低減と市民サービス向上を目指して～

【目的】

昨今、新型コロナウイルス感染症がきっかけに、現金收受時の接触機会を低減させる方法として、全国的にキャッシュレス決済が急速に広まっています。本市においても現金以外の支払方法を構築し、接触機会の低減と併せて市民の利便性の向上を図るため、窓口で PayPay での 2次元バーコード支払いによるキャッシュレス化を令和 3 年 2 月から始めます。

【事業概要】

- 電子マネーや 2次元バーコードの支払額の約 6 割は、1,000 円未満の利用であることから、少額決済が多い証明発行窓口（住民票、戸籍証明書、印鑑証明書、課税証明書、犬の登録手数料など）で 2次元バーコード決済を導入します。
- 将来的にどの窓口においても統一的に実施することが望ましいと考えるため、全庁的な導入を目指し順次拡大していきます（証明発行手数料、施設利用料、複写機使用料、物品の販売 等）。拡大の範囲は、県内自治体では一番多種になる予定で、順次ホームページでお知らせしていきます。
- 導入する 2次元バーコード決済サービスは、決済手数料が最も安価であり、業界シェア 1 位の「PayPay」を導入します。

【メリット】

- 利用者は、銀行の窓口や ATM で現金を引き出す手間や時間の節約することができる
- 市は、現金の授受に要する時間の削減により、スピーディーに行政サービスを提供することができる
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現金收受による接触機会を低減させる

【スケジュール】

10 月～POS レジシステム改修

1 月～PayPay 株式会社との利用協定締結

2 月～運用開始、窓口拡大に向けての調整